

充実したサービス実現へ

——学校や引率教諭、生徒に
対してこうあってほしいと思
うことはあります。

小池 私30年間見る限り、
生徒指導がきつと行き届いた
学校は修学旅行が始まってから
生徒を集めて指導などしてい
ない。修学旅行中によちゅう
生徒を集めていろいろな指導し
たがるのは本当にタメな学校だ。
都心部で、アウトバス、アウ
トトレで和形式の宿泊施設
が極めて少ない。あえてその貴
重な旅館を選んでいるのだか
ら、物理的に無理な要望は勘弁
してほしいと言っている。

斉須 志賀高原では林間学校
をよくやっている。だが、下見
などを普通の修学旅行と同様に
旅行会社任せにしている学校が
ある。山を歩いたりスキーをし
たり、そういうアウトドア的な
活動が多いのだから、事前に先
生との話し合いがもっと密にで
きればよいと思う。

私たちは先生や子供たちのこ
とを考えながら修学旅行を成功
させたいわけだから、旅行会社
ももう少し学校とのコミュニケ
ーションをとらせてほしい。

篠下 学校はお客さんなので
要望は特になし。

一つ言える、昔、学校が崩壊
していた頃は、生徒を見て、従
業員に「この生徒は危なそうだ
から、どの部屋に行ったら見て
おい」とよく言っていた。そ
ういう分りやすさが以前の子
にあったのが、今の子はみんな
同じ顔をして入ってくるから、
どの子が良くてどの子が悪い子
か分からない。これではこちら
も注意のしようがない。表に出
ないので、その辺が難しい。

小林 窓から生徒全員がスリ
ッパを脱げ、近所からスリッパ
が降ってきたというクレームが
あった。裸で走り回るなどいろ
いろな学校があるのだが、程度
の差はあるが、いい思い出にな
るのならばうがないかなと思



篠下氏

九州は熊本地震の問題があ
る。風評被害という言い方が正
しいかどうか分からないが、今
は地震もたふさない。九州全体
としては通称通りやっているの
で、ぜひ安心して来てほしい。

——旅行会社への要望は。
斉須 昔の添乗員や担当者
は旅館側と一緒にいろいろな
なことをしていたが、今の人
たちを見ていくと、ネットで見
たりするだけであって、本当に
修学旅行を理解してやっている
人はいない。

受け入れ施設としての意気込み・抱負

篠下氏 修学旅行は基幹であり大事

小林氏 将来の思い出作りを手伝う

小池氏 社会的価値ある仕事に誇り

斉須氏 「楽しかったね」そのお役に



稲佐山観光ホテル

小林氏

セルについてはキャンセル料が
かかる直前まで言わないのも困
る。一番悪いのは自分の休みの
前日の夕方に関係機関にキャン
セルを伝えて次の日から自分が
ゆつくりお休みするパターン。
金曜日の夕方からの旅行会社か
らの電話は良い話が全くない。
そういう自分勝手な営業マンに
苦められるのはわれわれだ。
——最後に、受け入れ旅館と
しての意気込みや今後の抱負を
お聞かせください。

篠下 われわれの館は修学旅行
がなければ今まで営業を続け
てこれなかった。震災などが
起きると一般のお客さんはな
かなか来ないにも関わらず、
修学旅行は日にちの振り替
えである程度戻ってきてくれ
る。少子化で数は減っていくに
しろ、修学旅行自体が全くな
くなくなることは考えていない。売
り上げの基幹となる大事なものだ。
小林 修学旅行は一生の思い出



本社テーマ 観光立国の実現は、地方(地域)から
観光経済新聞

出の一つ。学生時代の本音に5
本の指に入るようなビッグベ
ントだ。そういう意味では将来
の思い出作りを手伝うという
ようなことを引き継ぎやっ
ていきたい。それは自館でも
うだが、長崎全体でも「良か
たね」あのとき楽しかったね」
と言ってもらえるようにしてい

きたい。それしかない。
小池 同じ年代の子が同じ屋
根の下で同じ物を食べて寝息を
聞きながら過ごす貴重な時間
だ。それから一人自分勝手な行
動だけでは世の中は通用しない
という団体行動を覚える。その
機会を提供できる業種である
ということに誇りを感じている。

僕らがやっていることは社会的
に価値がある。きちんとやって
いきたいと強く思っている。
斉須 修学旅行には思い出づ
くりが必要だ。例えば志賀高原
に来て、星空がきれいだった、
ホテルで枕投げをした、とい
うことを印象つけてあげたい。
当館では、あらかじめ校旗を送

ってもらい、それを玄関前に立
てて、記念撮影も行っている。
子供たちにこの旅は楽しかった
ねと言ってもらおう。私たちのホ
テルがそのお役に立ちたい。
——皆さんの修学旅行に対す
る熱意が伝わってきました。本
日はありがとうございました。

教育旅行の受け入れについて活発に意見を交わす出席者